



相馬市 農業委員会だより



表紙の写真：飯豊地区で行われた稲刈り

年頭のご挨拶



相馬市農業委員会
会長 前川 正人

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様方には、日頃から当委員会の活動にご理解とご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当委員会は、昨年7月、委員の改選により、新たな体制でスタートし、担い手への農地の利用集積・集約や、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進等、農地利用最適化の推進に努めてまいりました。

一方で、国内の農業情勢は、令和3年産米概算金価格の大幅下落、原油価格の高騰による燃料や農業資材の価格上昇など、農業経営者に深刻な影響を及ぼした一年となりました。

これらは、農業を志す新たな担い手の確保や、円滑な農地の利用集積・集約化の推進を妨げる大きな要因となることから、当委員会としては、関係機関と連携し、引き続き農地利用最適化推進活動に尽力するとともに、本市農業の振興発展に一層努めてまいります。

結びに、この一年が皆様にとりまして実り多き年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

新規就農者のご紹介

荒 さとみさん (北小泉)



左：荒 徳吉さん 右：荒 さとみさん

令和元年 9 月より農業を本格的に開始。市農地利用最適化推進委員を務める父・荒 徳吉さんの元、日々農作物の栽培に励みながら、作業の効率化を図るため、農業用ドローンを活用したスマート農業にも取り組んでいます。

相馬で農業を始めようと思ったきっかけ

私が小さいころから父が農業に従事していたため、背中を追う形で農業を始めました。

春は田植え・秋は稲刈りの環境で育ち、祖父と父が働く姿を見てきたので、農業はとても身近な存在でした。

大学を卒業後、一般企業に勤めましたが、相馬に帰って家族で農家の仕事が見たいという思いが強くな

り、父の元で農業を開始しました。

現在の主要産物や今後の展望

現在は、水稻、オクラ、トマト、小松菜、チンゲン菜等を生産しています。

今後は、米粉の生産といった農作物の 6 次化にも取り組んでいきたいです。

農業の魅力

屋外で身体を動かし、毎日美味しい空気を吸いながら、健康的に仕事ができ、農作業後のご飯を美味しく食べられることが農業の魅力の一つであると感じています。

また、作物の育つ過程を間近で観察することができ、自分で育てた作物を自分で食べたり、人に美味しいと食べてもらい喜んでもらえることにとてもやりがいを感じています。





就農してみても

特に大変だったこと

農業を始めたばかりのころは、農作業に必要なとなる体力を付けること、農業に対する専門的な知識や農業用機械の操作方法を身に付けることが特に大変でした。

そのほか、天候状況により農作業が自分の思うように進められないことも多く、改めて農業と自然は密接なものであることを体感しました。

農業をされていて

良かったこと

農業用機械の運転や草刈りをしていくうちに、目に見える形で上達が実感できたことが嬉しかったです。

また、農業を通じて新たな人間関係を築くことができ、地域で生業を営む身としても貴重な財産であると感じています。

紙面を通して伝えたいこと

実際に就農してみても、農業には自然の恵みと厳しさの両面の特性があることを理解することができ、毎日の仕事の中で新たな発見ができることに喜びを感じています。

本記事を読んでいただいた方々には、様々な天災や、日々目まぐるしく変化する社会情勢にもめげず、相馬市で農業を頑張っている農家がたくさんいることを知っていただけたら嬉しく思います。



今後の抱負

地産地消の考え方を大切にしたいと思っており、暮らしているその土地で作られたものが身体に良いものであると考えています。相馬市産である私たちの作物を地元の方々にたくさん食べていただけるよう努めていきたいです。

今後は、相馬市内で生産販売をしている農家をより多くの方々に周知できるように、SNSを活用したPR活動に力を入れていきたいです。

また、水稻のほか、野菜や花卉の栽培にも挑戦していきたいと思っています。



しっかり積み立て、ガッツリサポート、安心で豊かな老後を。

農 業 者 年 金

3つの要件を全て満たせばどなたでも加入できます。

年間60日以上
農業に従事

60歳
未 満

国民年金
第1号
被保険者

※保険料納付免除
者を除く



農業者年金の

特徴

と

メリット

節税効果が大い

- 支払った保険料は全額社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税の節税につながります。
- 将来受け取る農業者年金についても、公的年金等控除が適用となります。

少子高齢化時代に強い

- 自分が積立てた保険料と運用実績により将来の受け取る年金額が決まる「積立方式（確定拠出型）」年金です。
- 加入者や受給者数に左右されにくい仕組みとなっています。

終身年金。80歳までの保証付

- 年金は生涯受給することができます。
- 万一加入者・受給者が80歳前に亡くなった場合、80歳までに受け取れるはずだった年金額が、遺族に死亡一時金として支給されます。（全額非課税）

保険料の額を自由に選べる

※通常加入の場合

- 将来必要とする年金額や現在の財政状況に応じて、保険料を月額1万円から6万7千円まで、千円単位で選択できます。
- 加入途中での掛け金の見直しはいつでも可能です。

保険料の国庫補助制度あり

※要件があります

- 一定の要件（認定農家、青色申告、家族経営協定を結んだ配偶者や後継者等）を満たした意欲ある担い手には国から最大月額1万円の保険料補助があります。
- 国庫補助を受ける場合の保険料は月額2万円に固定されます。

より詳しい内容が知りたい方は「独立行政法人農業者年金基金」のホームページへアクセスください。

<http://www.nounen.go.jp>

🔍 農業者年金

検 索

相馬市農業委員会においても、農業者年金に関する相談を随時受け付けています。お気軽にご連絡下さい。

相馬市農業委員会 ☎ 0244-37-2190

令和3年度 農地利用最適化推進施策に関する意見書の提出

相馬市農業委員会では、令和3年8月より安定的な農業経営の実現と更なる農地等の利用最適化推進に向けた施策の改善のため、協議を重ねてまいりました。

令和3年度の農地等利用最適化推進施策に関する意見書として、農業を取り巻く喫緊の課題を以下の5項目に取りまとめ、市に対して、11月16日、提出しました。

今後、市より本意見書に対する回答が提出され次第、農業委員会のホームページで公表いたします。



写真：意見書を阿部副市長（左）へ手渡す前川会長（右）

農業委員会からの意見書の骨子

1. 耕作放棄地の発生防止・解消策について

①農地の適正管理に対するPR策

市において、耕作放棄地の発生防止、解消に向けて、農地の適正管理に対するPR策を講じる等、農業委員会と一体となった取り組みをお願いしたい。

②耕作放棄地解消に対する支援策

市内全域を対象に、地域で草刈りや耕うん作業等を実施する際の燃料代助成や、景観作物を植える際の種子代や肥料代助成等、市独自の支援策を検討していただきたい。

2. 有害鳥獣捕獲体制の強化について

①有害鳥獣捕獲体制の強化

狩猟免許取得のための講習会の開催や、免許取得費用の助成、猟銃購入費の助成等、捕獲体制の強化を図っていただきたい。

②電気柵助成から

ワイヤーメッシュ（金網）柵助成への転換

年次計画で市内をエリア指定し、電気柵の助成枠（予算）をワイヤーメッシュ柵を設置するための費用に充てる等、集落・地域ぐるみでのワイヤーメッシュ柵による進入防止対策への転換をお願いしたい。

3. 担い手の育成・支援について

①法人化の推進、担い手の育成確保対策

新たな担い手確保のため、ソフト面を含めた、法人設立への支援策や、農業法人を市外から誘致する等、担い手の育成、確保策を講じていただきたい。

②小規模経営等多様な担い手に対する支援対策

小規模ながらも、長期間の営農継続が可能と思われる意欲ある農家に対し、農業用施設や機械の導入、更新等を支援する助成制度を創設していただきたい。

4. 農業生産基盤の整備について

農地中間管理機構関連農地整備事業等、所有者の費用負担のない形での事業実施に向け、国や県へ働きかけるとともに、地元から事業実施の要望があった際は、土地改良区等と連携し、関係者の合意が得られるよう積極的な働きかけをお願いしたい。

5. スマート農業の推進について

市において、ICTや農業用ドローン等を活用したスマート農業に関する情報の発信や、農業用ドローン技能認定のための講習費用、機器購入に対する支援策の検討等、スマート農業の推進に向けた積極的取り組みをお願いしたい。



新規就農のご相談は、そうま地区新規就農支援チームへ

そうま地区新規就農支援チームでは、『農業を始めたい』あなたをサポートし、新規就農へ向けて一緒に考え、応援していきます。ぜひ一度ご相談ください。



◆相双農林事務所 農業振興普及部 ☎ 0244-26-1150

農業についての技術や経営に関する知識の習得支援、農業用機械の取得や生活支援に係る補助制度について

◆相馬市農林水産課 ☎ 0244-37-2147

青年等就農計画及び農業経営改善計画について

◆相馬市農業委員会 ☎ 0244-37-2190

農地に関する相談（幹旋、賃借や売買など）

◆JAふくしま未来相馬地区本部農業振興課

種苗購入費補助、主食用米促進支援、農業法人設立支援、ハウス等資材費補助等について ☎ 0244-67-2702



農業委員会だより編集委員
左：三國 実加委員 右：坂本 雄司委員
中央：後藤 義昭委員長

県農業会議主催 情報誌コンクールにて 優良賞に選ばれました

令和 3 年 11 月 11 日、福島市パ
ルセイイざかにて開催された福
島県下農業委員会大会におい
て、第 38 回農業委員会情報誌コ
ンクール表彰が行われ、相馬市
農業委員会だより第 63 号が優良
賞に選ばれました。

そのほか、相馬市農業委員会
が『全国農業新聞普及優良農業
委員会』として表彰されました。



左：鈴木 守氏
右：阿部 勝弘 副市長

鈴木 守氏が 農業功労者知事表彰 を受賞しました

平成 14 年から、16 年間にわ
たり相馬市農業委員（うち 6
年間を農業委員会会長）とし
て、農家の指導育成と関係団
体の発展に尽力し、相馬市
の農業の発展振興に寄与し
た鈴木 守氏（以下、鈴木氏）
が令和 3 年 10 月 21 日、福島市
杉妻会館にて開催された表彰
式において、農業功労者知事
表彰を受賞しました。

また同日、鈴木氏は相馬市
役所を訪れ、阿部副市長に対
し、受賞の報告を行いました。

農地に関する手続き・ご相談は農業委員会へ

- ・農地を転用したい
- ・農地を売買したい
- ・農地を贈与したい
- ・田を畑にしたい
- ・農業委員会を通して農地を貸借したい
- ・農用地区域外の荒廃農地を地目変更するために
非農地であると証明してほしい



農業委員会からのお知らせ

農業委員会総会日程・申請書の締切日

総会日程	申請書締切
2月10日	1月18日
3月14日	2月17日
4月12日	3月18日
5月13日	4月18日

日程は変更になる場合がありますので、
ホームページ等であわせて確認下さい。

編集後記

新年あけましておめでとうござ
います。皆様におかれましては本
年が良い年になりますよう心より
お祈り申し上げます。

昨年は猛威を振るった新型コロナ
ウイルス感染症の拡大により、
多くの国民が厳しい生活を強い
られました。本年も油断することな
く感染症対策を徹底し、健康に気
を付け、農業委員として相馬市の
農業発展に寄与できるよう励んで
まいります。

（三國）



月 4 回
金曜日発行
月額 700 円

農家の思いを伝え農業・農村の
「未来」をともに考えます。

全国農業新聞は農業委員会ネットワ
ークが発行する週刊の農業総合専門誌で
す。お申込は農業委員会までどうぞ。

編集・発行

相馬市農業委員会
相馬市中村字北町 63-3
☎ 0244-37-2190



編集委員長
委員 坂本 雄司
委員 三國 実加
委員 後藤 義昭